関東地方

名前

問1　日本の諸地域について述べた次の文の空欄に当てはまる都市名を選びなさい。「北関東に位置する栃木県は、住宅用太陽光発電機器の設置割合が全国でも高い水準にある。この県の県庁所在地である（ ）は、内陸型工業地域の中心的な都市の一つでもある。」（2023年 秋田県公立入試 類似）

1. 宇都宮市
2. 水戸市
3. 前橋市
4. さいたま市

問2　千葉県は、京葉工業地域を中心とした製造業が盛んな一方で、農業も非常に活発です。特に野菜の産出額が全国的に高い水準にありますが、このように大消費地である都市の周辺で行われる、新鮮さが求められる野菜などを生産する農業の形態を何と呼びますか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 適地適作
3. 促成栽培
4. 近郊農業

問3　1980年から2020年にかけての人口増減を示した資料において、東北地方や四国地方では多くの県で人口が減少しているのに対し、関東地方や近畿地方では人口が増加傾向にある府県が目立ちます。このような地域間での人口動態の差が生じている主な要因として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 福岡県公立入試 類似）

1. 農村部において出生率が急上昇し、都市部を上回る自然増が発生しているため。
2. 地価の安い山間部へ工業地帯が移転したことで、内陸部での雇用が大幅に拡大したため。
3. 三大都市圏において、進学や就職を目的とした地方からの人口流入が続いているため。
4. 政府による地方分散政策により、すべての都道府県に大企業の経営拠点が均等に配置されたため。

問4　主要都市の人口特性を比較した統計において、大阪市の昼夜間人口比率が131.7であるのに対し、さいたま市の数値は93.0となっている。このさいたま市の数値が示す都市の性質として、最も適切なものはどれか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 夜間人口と昼間人口がほぼ等しく、住居と職場が同じ地域内に共存している職住近接の都市としての性質
2. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回っており、観光や商業の拠点として昼間の人口密度が極めて高い都市としての性質
3. 昼間人口が夜間人口よりも少なく、東京都など周辺の都市へ通勤・通学する人が多いベッドタウンとしての性質
4. 昼間人口が夜間人口よりも多く、周辺地域から多くの労働者や学生を吸い寄せる地方中心都市としての性質

問5　日本の主要な港のうち、輸出額（約5兆8000億円）に比べて輸入額（約10兆5000億円）が極めて高く、輸入品目の上位に衣服、コンピュータ、魚介類などの消費財が並ぶ港として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）

1. 横浜港
2. 神戸港
3. 名古屋港
4. 東京港

問6　1970年代初頭から2019年にかけての関東地方における工業出荷額の統計的な変化について、正しく述べているものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 総出荷額が約3.8兆円から約30.5兆円へと大幅に増大し、中でも輸送用機械の占める割合が全体の2割を超えるまで上昇した
2. 産業構造の変化により繊維工業の出荷額が急増し、2019年には地域全体の出荷額の約2割強を占めるようになった
3. 総出荷額は横ばいであるが、航空機産業の出荷額が約6.7兆円に達し、輸送用機械に代わる基幹産業となった
4. 輸送用機械の出荷額は1971年時点がピークであり、2019年にかけて出荷額・割合ともに減少を続けている

問7　群馬県北部の地点から南東の埼玉県側の地点を結ぶ地形の断面的な特徴について、その標高の変化を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 群馬県北部から埼玉県にかけて標高の差がほとんどなく、全域にわたって標高100メートル以下の平坦な土地が広がる地形
2. 標高2000メートルを超える北部の険しい山地から、南東へ進むにつれて標高が急降下し、広大で平坦な関東平野が続く地形
3. 南東側の平野部から北部の山地に向けて標高が緩やかに上昇し、標高500メートル程度のなだらかな丘陵地が続く地形
4. 北部の山地と南東の平野部の間に巨大な盆地が存在するため、中央部で一度標高が大きく下がった後に再び上昇する地形

問8　日本には海に面していない「内陸県」が8つ存在します。そのうち、関東地方に位置し、日光市などの著名な観光都市や豊かな山岳地帯を擁する県を次の中から選びなさい。（2020年 三重県公立入試 類似）

1. 滋賀県
2. 長野県
3. 山梨県
4. 栃木県

問9　千葉港の輸入額における国別割合を見ると、アラブ首長国連邦が24.3%、カタールが11.0%、サウジアラビアが10.7%と、西アジア諸国が上位を占めています。このような輸入の傾向が見られる千葉県を中心とした京葉工業地域において、最も発達している工業の種類を次の中から選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. 鉄鋼業
2. 自動車工業
3. 石油化学工業
4. 繊維工業

問10　神奈川県の県庁所在地であり、関東地方で最も多い人口を抱える横浜市について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 政令指定都市に指定されており、臨海部の再開発地区である「みなとみらい21」には商業施設や国際会議場が集まっている。
2. 政令指定都市に指定されており、近年は内陸部の工業団地を「みなとみらい21」として再開発し、先端技術産業を誘致している。
3. 中核市に指定されており、江戸時代から続く城下町としての景観を維持するため、臨海部の開発は厳しく制限されている。
4. 中核市に指定されており、臨海部では「幕張新都心」と呼ばれる大規模な都市開発が行われ、業務機能が集中している。

問11　香取市佐原の歴史的景観が形成された背景として、地理的な条件と歴史的な背景を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な平野を活用した大規模な稲作を推奨するため、幕府が農民の居住区として計画的に建設した集落である。
2. 明治時代以降に海外貿易の拠点として開港されたため、西洋風のレンガ造りの建物が並ぶ港町として発展した。
3. 急峻な山々に囲まれた要害の地であったため、戦国時代の城郭建築を中心とした都市景観がそのまま残された。
4. 利根川下流の小野川沿いに位置し、江戸時代に物資を運ぶ舟運の拠点として発展したため、商人たちの活気ある町並みが作られた。

問12　関東地方の房総半島からその周辺にかけて広がる地域は、北部に国立公園に指定されたリアス海岸があり、南部には大規模な埋立地が造成されています。この地域における、高度経済成長期以降の工業の発展の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 豊かな森林資源と水資源を活かして、明治時代から製紙・パルプ工業が発達し、現在も沿岸部を中心に国内有数の出荷額を誇っている。
2. 広大な平野と冷涼な気候を活かして、大規模な畑作や酪農と結びついた食料品工業が、広域的な交通網に沿って発展した。
3. 国際貿易港に隣接する岬などの地形を活かして造船所が作られ、埋立地には輸入原料を利用する大規模な製鉄所が建設された。
4. 穏やかな海面と広大な塩田跡地を利用して、石油化学コンビナートや自動車工場が集中する、瀬戸内海沿岸の工業地域を形成した。